



▲お口に合いましたでしょうか

9月29日(水)～10月1日(金)に姉妹都市であるアメリカ・ライマ市よりバリー市長を含む2人が、10月28日(木)～11月3日(祝)にはライマ姉妹都市協会よりキャレン協会長を含む19人の友好訪問団が来町しました。

バリー市長らは短い訪問でしたが、お茶席の体験や大遺跡、石ヶ池公園などを見学しました。

また、日本山村硝子(株)などの視察も行い「住民同士の交流はともうまくいっているが、このようにビジネス同士の交流も始めれば」と話されました。



▲みんな笑顔でした

キャレン会長らは滞在中、4泊のホームステイを体験。互いに交流を深めました。

29日(金)には座禅やお茶席を体験した後、播磨中学校、播磨南中学校を訪問。授業を見学し、クラブ活動にも参加しました。

また、30日(土)には、いきいきセンターで播磨町国際交流協会主催のハロウィンパーティーに仮装用の衣装を持参して参加。子どもたちとゲームなどを通して楽しんで過ごしました。そして、午後からの歓迎会では、約140人が参加。にぎやかに訪問を歓迎しました。



▲静かな緊張

ライマ市訪問団・ライマ姉妹都市訪問団来町 ホームステイで交流を深める



▲「じょうずにできたね」

播磨中央保育園の子どもたちが、稲刈りに挑戦しました。田んぼでは、台風にも負けずしっかりと稲穂が実っていて、子どもたちは張り切って田んぼの中に足を踏み入れました。

「下の方をしっかりと持ってね。右手でカマを持って、引くんだよ」と先生に教わりながら、どの子どもも真剣そのものです。ザクッと刈り取った

稲の束を両手で抱えて運ぶときには、みんなとっても満足そうな笑顔をしていました。

田んぼに入って稲刈りしたよ



▲「もっとやってー」

抱っこして、おんぶして 親子ふれあい遊び

10月6日(水)、中央公民館で親子ふれあい遊びが開かれました。子ども3日体操の平野美津子さんを講師に迎え、就学前までの子どもたちが、お母さんやお友達と踊ったり、ジャンプしたり、抱っこしてもらったりして笑顔いっぱい親子ふれあいを楽しみました。

広げよう 花と緑の輪

播磨町花と緑の協会

花といっしょに暮らす素敵な毎日

⑱ 「ガーデニング歴は15年です。」

【植物の魅力は】 植物は手入れが大変ですが、でも、花が咲く時期になると、とても和やかな気持ちにしてくれます。

【失敗談は】 日光を好む花を日陰で育ててしまい、根腐れしたことです。

【アドバースするとすれば】 気長に花を見守ることだと思えます。

【思いに残る出来事は】 4人の孫たちが毎年、花の前で記念写真を撮っています。枚数が増えるたびに思い出も増えていきます。

【これから挑戦してみたいことは】 挑戦するといふよりも、これまで通り、一年中家のまわりを花いっぱいにしてほしいです。



※前面水路は個人水路です
寺田 松子さん宅
 ～ 古宮 ～
 問い合わせ 都市計画課
 ☎0794(35)2366



▲大きなコイに感激

水辺を歩いて、親子のふれあい 親子ふれあいウォーキング

連合子ども会行事のふれあいウォーキングが、「ため池ウォーキングと瀨川遊い ng!!」と題して、今年も10月30日(土)に開かれました。

時々雨が落ちてくるような空模様でしたが、朝早くからレインコートを着た子どもたちが元気に集まって来ました。5つの班に分かれて朝8時30分

ら5分間隔でスタートし、6つのため池をたどって歩きます。

大池では野鳥観察をし、たくさんのカマヤ、青く美しいカワセミも姿を見せました。秋ヶ池では大きなコイやライギョなどを触ったり、北池では水質の透明度を測ったりして、ため池の中の様子を学ぶことができました。野添であい公園までたどり着くと、温かい焼き芋で元気を回復し、石ころペインティングや川へ降りて生き物を探するなど、思い思いの水辺の遊びを楽しみました。

「お父さんが子どものころは、このあたりの池で泳いだりしたこともある」と、子どもたちに話してくれる参加者もあり、たくさんふれあいができた催しでした。

町内5学童保育の運動会

第12回学童まつりが、秋晴れの11月7日(日)、蓮池小学校で行われました。町内5つの学童保育所の交流と親子のふれあい、学童保育の発展のためのPRを目的としたミニ運動会です。

参加者369人と、今までにない参加人数で各学童が親子とも迫力ある熱気の中、趣向を凝らした競技で楽しい休日を通しました。



▲親子でファイト!

皆さんも「ふれあいウエーブ」を起こしませんか!



▲参加型学習をするふれあいウエーブ講座メンバー

「ふれあいウエーブ」講座とは

平成13・14年度の公募によって約20人のメンバーが集い、年間5〜6回の人権教育講座を開催しています。

講座内容は、同和問題・男女共同参画・子ども的人権・高齢者の生き方など、様々な人権問題をテーマに

今年度のテーマは「多文化共生」

このような活動を通して、一人一人の人権意識が高まってきたことはもちろんですが、メンバー同士のふれあいが増えてきたことは大きな成果です。これからは、この成果を基盤にしてメンバーを増やし、広く住民の皆さんへふれあいのウエーブを起こしていくことを目指します。

今年度は、兵庫県教育委員会と法務局より人権啓発委託事業を受けて、「ふれあいウエーブ」講座がその一端を担うことになりました。そして、人権啓発のテーマを「多文化共生」として、まずメンバー自身が研修を積んでいくことにしました。

子ども多文化共生シンポジウム▶
パネラーの塩沢岩光氏(プロジェクト21はりま代表)



▲多文化交流ステージで太鼓演奏する弾・まめ弾

《第1回講座》国際交流協会主催の交流パーティに参加
《第2回講座》「多文化共生」についてディスカッション
《第3回講座》講演会(三木高校の井上浩義先生
これらの研修で、「多文化共生」

とは、簡潔に言えば外国文化理解と外国人との共生でしょうが、もっとつきつめていくと、自分自身と自分以外の人たちの価値観や生き方の違いをお互いに認めて尊重していくことになると話しました。

《第4回講座》兵庫県教育委員会主催の「子ども多文化共生フェスティバル」(神戸市で開催)に参加。そして、いよいよ広く住民の皆さんに向けてふれあいウエーブを起こすイベントを次頁の通り予定しています。

ぜひ、お越しください。

人とふれあうことの大切さを実感し、そのふれあいを広げていきませんか。関心のある方はいつでもご連絡ください。講座の案内状をお送りします。一回だけの参加でも構いません。

▼問い合わせ
生涯学習課
0794(35)0565

播磨町「多文化共生フェスティバル」のご案内

演題 「音楽は世界の共通語」(仮題)
講師 岡野 弘幹氏(音楽プロデューサー)

近年の急速な国際化によって、私たちは様々な外国文化を知る機会が増えてきました。しかし、実際の出会いとなると、「言葉の壁」が大きく感じられます。そんなとき、共通の何かがあれば、それをきっかけに交流が始まることも多いようです。例えば音楽です。「音楽に国境はなし」と言われているように、今回は、音楽を起点に「多文化共生」について考えてみたいと思います。



▲熱唱する岡野弘幹氏

岡野弘幹氏の紹介

昨年の「野添コミセンのついで」での体験談と歌と演奏は大好評。欧米各国での演奏ツアーやアフガニスタンへのボランティア(子どもたちの楽器提供)など、音楽を通じ、まさしく地球市民として活躍中です。また国際色豊かな創作曲は、自動車やマンションのCM、NHKドキュメンタリー番組、そして映画にも採用されています。

「ふれあいウエーブ」講演会

朗読 障害に関する作文朗読(小学生)
映画 「キリクと魔女」
講師 高畑 勲氏

《日時》平成17年1月30日(日)
午後1時30分〜4時
《場所》中央公民館 大ホール
《主催》播磨町教育委員会・東はりま人権啓発活動地域ネットワーク協議会



▲高畑勲氏

映画と講師紹介

○アニメ映画「キリクと魔女」(75分)
アフリカを舞台とした愛と救済と人権解放の世界寓話。フランスで公開され、アニメ映画としては空前の大ヒットとなる。国際映画祭でも数々の賞を受賞。

○高畑 勲氏
アニメ映画監督。宮崎駿氏とともにスタジオジブリを設立。「風の谷のナウシカ」「天空の城ラピュタ」のプロデューサー。「八重の墓」「おもひでぼろぼろ」の監督。

問い合わせ 生涯学習課
0794(35)0565

《日時》12月18日(土)
午後1時30分〜3時30分
《場所》播磨南中学校 体育館
《主催》播磨町教育委員会
播磨南中学校PTA
《後援》播磨町国際交流協会



▲アニメ映画「キリクと魔女」の一場面

がんばった運動会

播磨北小学校



▲楽しく踊れました

またダンス「ハッスル・ハッスル!!」では、2年生と一緒にニコニコ笑顔で生き生きとリズムカルに踊っていました。親子ふれあいダンスは「はりま21」の関戸先生にご指導いただき、エアロビクスをしました。他にもふれあい競技がいくつかあり、とても美しい、そしてがんばった運動会でした。

から練習を始めました。短い練習期間ではありましたが、一生懸命練習し、本番では大成功を収めました。1年生は初めての運動会。始まるまではとても緊張していましたが、50メートル走では靴ひもを締め直し、自ら気合を入れゴール目指して、まっすぐ走り抜けることができました。



10月3日(日)、冷たい突風が吹き付ける中、「第24回ふれあい運動会」がありました。5年生が自然学校に行っていたこともあり、9月3週目

楽しかった運動会

播磨小学校1年生



▲ポーズも決まってカッコイイ

お気に入りの「怪傑ソロリ」の曲に合わせて、ポンポンを元気に振りながら、リズムに乗って踊りました。また、綱引きや玉入れもみんなで力を合わせて頑張りました。そして、親子でお弁当を食べた後は、親子で楽しく「ジェンカ」を踊りました。祖父母に見てもらい、「ご機嫌な一日でした。

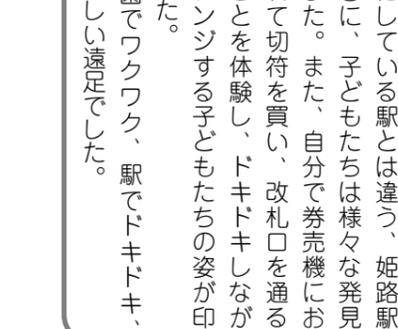
それを聞いたほかの子どもたちは、家に帰り早速作り直しました。子どもたちの願いが通じ、運動会は予定通りに進み、初めての運動会を楽しむことができました。



運動会前日のこと。「明日、運動会できるかなあ。雨からへんかなあ」と心配している子どもたち。1人の子が、「てるてる坊主を作ったらええねん」。

ワクワク、ドキドキ、秋の遠足

播磨西小学校



▲ちよっぴり緊張するなあ

気持ちのいい秋晴れとなった10月22日(金) 秋の遠足として2年生は、姫路動物園に行ってきました。動物園内では、乗り物に乗ったり、動物を見たり、触れたり楽しい時間を過ごしました。

今回の遠足では、生活科の学習を兼ねて「駅探検」を実施しました。日ごろ、目に見えている駅とは違う、姫路駅の大きさに、子どもたちは様々な発見をしました。また、自分で券売機にお金を入れて切符を買い、改札口を通るといったことを体験し、ドキドキしながらチャレンジする子どもたちの姿が印象的でした。動物園でワクワク、駅でドキドキ、とても楽しい遠足でした。



▲準備も楽しいね

手作りかごをどうぞ!

蓮池小学校



▲いらっしやいませ

3年生は、社会科「スーパーマーケットで働く人」の学習を深めるために、コープはりまの見学をさせていただきました。働く人の服装、看板や品物配置の工夫、広告やサイクルなど、とてもたくさん発見がありました。これらを元にしてお店を出そうということになり、10月15日(金)にミニバザーを開きました。商品のメインは、親子で作った便利なかごです。

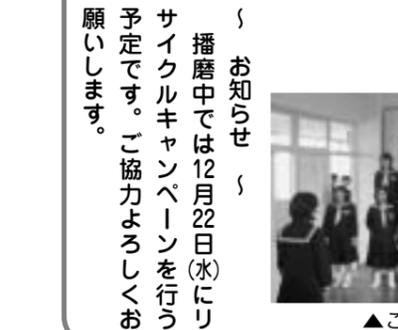
その他に、各家庭から不要品も出してもらいました。子どもたちも、1学期に理科の学習で育てたマリゴールドなどの種、クリップ、ハッパン、指輪、ミサンガ、スライムなどを用意しました。会場では、子どもたちの楽しそうな顔と呼び込みの声も大きく、大変にぎわいました。みんなの頑張った様子は、次の児童集会で全校生に発表する予定です。



▲準備も楽しいね

心を一つに!合唱コンクール・文化祭に向けて

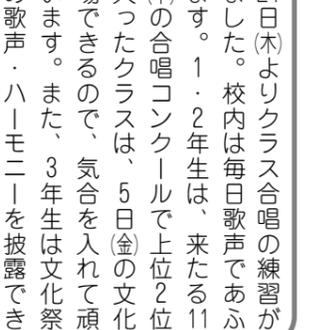
播磨中学校



▲こうした練習の成果を発揮します

お知らせ
播磨中では12月22日(水)にサイクルキャンペーンを行う予定です。ご協力よろしくお願ひします。

10月21日(木)よりクラス合唱の練習が始まりました。校内は毎日歌声であふれています。1・2年生は、来たる11月4日(木)の合唱コンクールで上位2位までに入ったクラスは、5日(金)の文化祭に出場できるので、気合を入れて頑張っています。また、3年生は文化祭で最高の歌声・ハーモニーを披露できるように、日々努力を重ねています。ひとりひとりの歌声が集まって合唱となる! 目指せ、大合唱♪



▲頑張ったね

秋季運動会

播磨南小学校



▲頑張ったね

子どもたちが楽しみにしていた運動会。9月の初めごろから、少しずつ練習を始め、ダンスや競争をしていました。特に1年生は小学校初めての運動会ということもあって、何もかもが目新しく、2年生と力を合わせて一生懸命取り組む姿が見られました。紅白に分かれての応援合戦でも、自分の色が一杯頑張れるように、声を出していました。6年生にとっては最後の運動会ということもあって、お互いを掛け合い、自分の力を出し切ろうとする頼もしさも感じることができました。「Go! Go! 赤白、勝利に向かって、レッツゴー!」

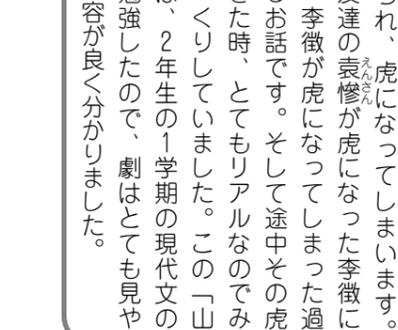
来年の運動会でも、子どもたちが自分の力を十分発揮できますように、応援してください。



▲熱心に聞き入る生徒たち

文化行事

播磨南高等学校



▲花束贈呈

10月22日(金)に、文化行事が体育館でありました。今年には劇団「青い森」の「山月記」を観賞しました。総勢15人の劇団の方が熱心に演じてくださり、私たち生徒も集中して、劇を見ました。「山月記」の内容は簡単に言うと、中国のお話で主人公の詩人「李徴」が自尊心を傷つけられ、虎になってしまいました。そして友達の袁孝が虎になった李徴に出会い、李徴が虎になってしまった過程を語るお話です。そして途中その虎が出てきた時、とてもリアルなのでみんなびっくりしていました。この「山月記」は、2年生の1学期の現代文の授業で勉強したので、劇はとも見やすく、内容が良く分かりました。

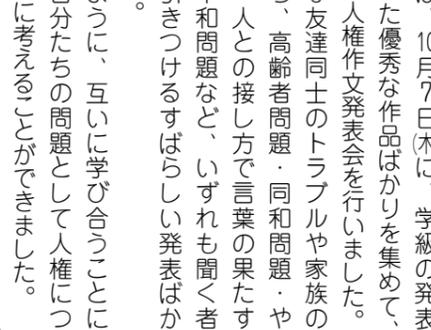
10月22日(金)に、文化行事が体育館でありました。今年には劇団「青い森」の「山月記」を観賞しました。総勢15人の劇団の方が熱心に演じてくださり、私たち生徒も集中して、劇を見ました。「山月記」の内容は簡単に言うと、中国のお話で主人公の詩人「李徴」が自尊心を傷つけられ、虎になってしまいました。そして友達の袁孝が虎になった李徴に出会い、李徴が虎になってしまった過程を語るお話です。そして途中その虎が出てきた時、とてもリアルなのでみんなびっくりしていました。この「山月記」は、2年生の1学期の現代文の授業で勉強したので、劇はとも見やすく、内容が良く分かりました。



▲虎の李徴

人権作文発表会

播磨南中学校



▲熱心に聞き入る生徒たち

今年は、夏から秋にかけて台風が何回も上陸しました。塩害ですっかり葉が落ちた中庭の桜が、季節はずれの花をたくさんつけ、生徒たちの目を惹かせてくれました。さて、本校では生徒たちの人権意識を高めようと、毎年、夏休みに人権作文・人権詩を書くようにしています。1年生は、10月7日(木)に、学級の発表で選ばれた優秀な作品ばかりを集めて、武道場で人権作文発表会を行いました。身近な友達同士のトラブルや家族のことから、高齢者問題・同和問題・やさしさ・人との接し方で言葉の果たす役割・平和問題など、いずれも聞く者の心を引きつけるすばらしい発表ばかりでした。

このように、互いに学び合うことにより、自分たちの問題として人権について真剣に考えることができました。



▲熱心に聞き入る生徒たち

播磨町で飲食業を営んで15年。振り返って見ると、ふと人のつながりを考えることがあります。アルバイトに来てくれていた学生も、次々と卒業して行き、今ではお客として来てくれたり、今のバイトの子にアドバイスをしてくれたり、失敗談や自慢話で私たちも楽しく懐かしい思い出をしています。

いつの日だったか、日系3世のブラジル人「ロベルト」が店に来て、ロベルトの祖父が「日本は美しい所で、礼儀正しく、優しい人の多い素晴らしい国だから一生に一度は行って来い」と、口癖のように言っていたそうです。

思い立って5年ほど前に東京

へ出て来てみたけれど、祖父の言っていた日本とは全く一致せず大阪に移り、それでも失望し、仕事の都合で播磨町に来て、祖父の言っていたことがやっとここで分かった、と聞きました。

移民された祖父は、たぶん明治生まれの方で、そのころの日本を思い、ロベルトに日本の良い所を見て欲しかったんでしょ。その良い所が播磨町には今も生きていると思うと、うれしいですね。

何かと忙しい毎日、自分のことだけを考えると、大事なことを忘れていた私は、恥ずかしい思いをしました。仕事中、ついカッとなったり、本当に困ったりしたことはたびたびあります。

そんなときこそ本質が問われているんですよ。いつまでもつながりの出来る対応をしたいものです。

人が人をつくり、自分から出た言葉や対応の仕方が、回りまわって自分の人生をつくっている。そこには必然的に心のつながりがある。同じつながるなら、良いつながりを求めて、より広く人生楽しく生きたいと思えます。

人生とは、人と生きると書きますね。1人より2人、2人より3人、より多くの人たちと良いつながりを持って生きたいです。

今後ともよろしくお願い致します。

育児相談によくあがる相談の1つに「しつけ」があります。先日、「外から帰って来たら手洗い、うがいをやる約束を、子どもがしない。ロやかましくガミガミ言わなければいけない。どうしたらいいのしょうか」と電話相談がありました。相談者はとても疲れた様子の声です。しつけは社会や家庭のルールを子どもに教えることなんです。小さい子どもに、しつけは基本的な生活習慣が主となります。この相談者の「手洗い」「うがい」「や」「片付け」「おやつ時間」等々です。

繰り返し、繰り返し教え、待つ

子育て支援センター

子どもに教えるためには、口で言うより、まず大人が手本としてやって見せ、まねをさせたり、子どもと一緒にしながら導いていきます。頭ごなしに叱り付けたり、ガミガミ言ったりすると、子どもの自尊心は傷付き、やろうとする気持ちを損なってしまう。

子どもが納得してできるようになり、また遊び感覚のうちに身に付くように、繰り返し繰り返し教えて、できるようになるまで待つてあげてください。

あなたに
はつたつ

リレーエッセー⑦



山本 和保さん (野添南)

趣味 剣道

わんぱくはりまっ子



中谷 楓ちゃん (1さい) 二子

生まれてきてくれてありがとう。これからもよろしくね。(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出たい「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

喜瀬川がきれいになったよ!!

蓮池幼稚園

「あつ、シュースの缶やー」など、たくさん「ミ。園」持つて帰って計ると20分もありました。パッタさん、きれいになったよ。



みんなのおかげでとてもきれいになりました

よく遊びに行くと喜瀬川に台風の大水でゴミが流れてきていました。「パッタさんのおうちやもんな」「きれいにしにいこ」と、年長児は袋とトングを持ってゴ

お家の人と“秋の自然”であそんだよ

播磨西幼稚園

「楽しかったね。また、お家でも一緒にしようね。」



どんなのができるのか楽しみだね

「楽しかったね。また、お家でも一緒にしようね。」

獅子舞を見たよ!!

蓮池幼稚園

「大きい口やー」「囃んでもらったから、お母さんに怒られへんな」と年長児。年少児や年中児は獅子が近づいてくるたびに「怖いー」と後ずさりしたり、顔を隠したり。でもまた見たいな。



うわあ 高いなあ



「楽しかったね。また、お家でも一緒にしようね。」

楽しいね! 皆でかけっこヨーイドン!!

播磨幼稚園

「1位やで!」とキラキラ顔を輝かせ、嬉しい声飛び出しました。どの競技もたくさんの人と一緒にしたね! たくさん見てもらって、本当につれしかったね!



「走る前ほどの顔も真剣!!」



「楽しかったね。また、お家でも一緒にしようね。」

保育園は、たのしいな

蓮池保育園

保育園は、生後2カ月から入園でき、最長6年間、保育園に通うことができます。入園当初は、お母さんと離れることが寂しくて泣いていた0・1・2歳児も、今ではすっかり慣れ、「外に行くよ」と、声を掛けると、靴を一人で履こうとしたり、何でも自分でしようと、頑張っている姿が見られます。砂場では、スコップやバケツを使って、楽しそうに砂遊び、保育室では、落ち着いてみんなと一緒に絵本を見ることもできるようになりました。

広い園庭で、思いきり遊ぶ中にも、年下の子どもをかわいがる年長児の姿も見られます。栄養のバランスの取れた、おいしい給食を食べ、すくすくと健康に育っています。

毎日元気に登園してきてね。



仲良く見ようね



お砂、楽しい



お出掛けだー